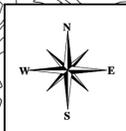
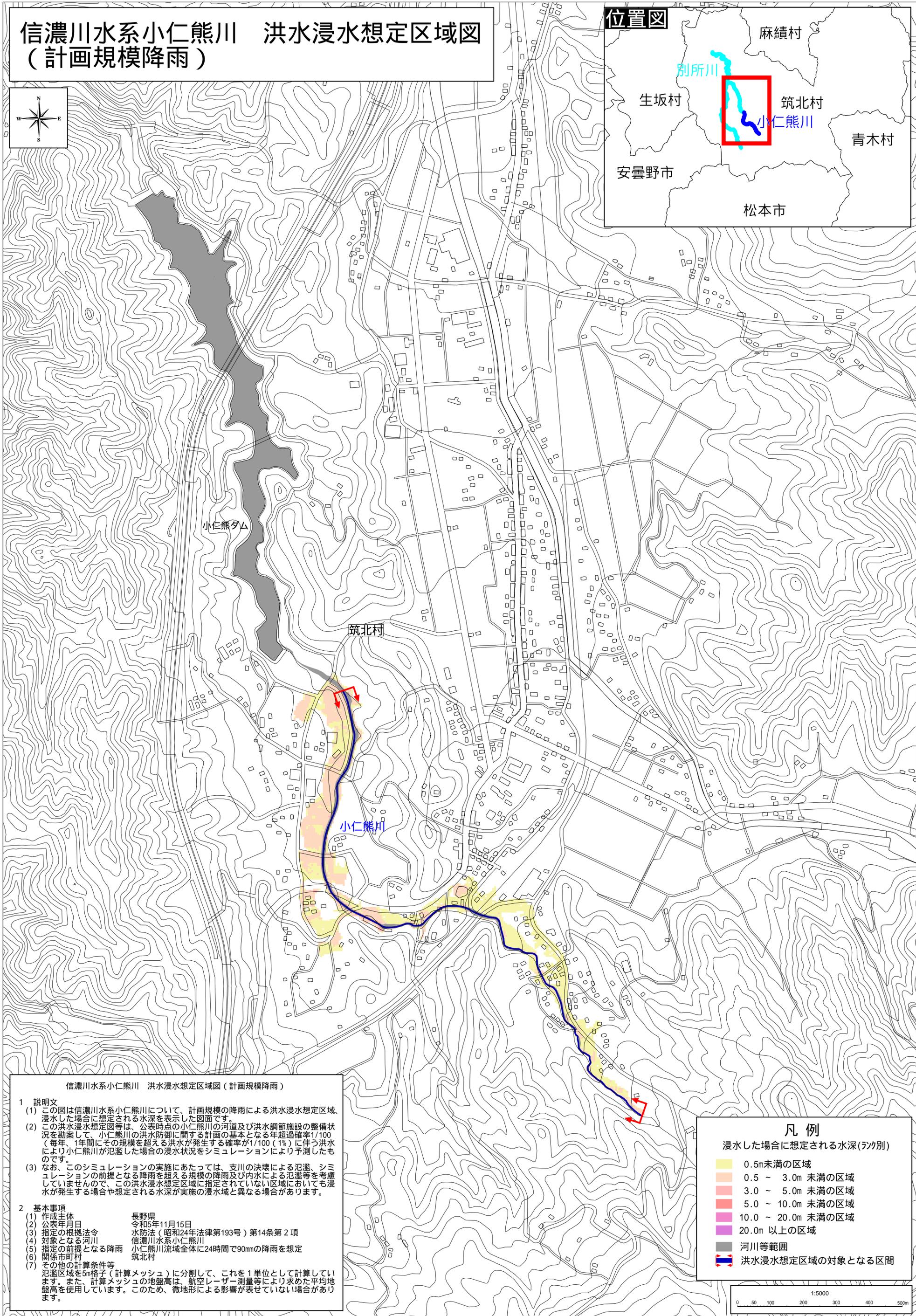


信濃川水系小仁熊川 洪水浸水想定区域図 (計画規模降雨)



位置図



信濃川水系小仁熊川 洪水浸水想定区域図 (計画規模降雨)

1 説明文

- (1) この図は信濃川水系小仁熊川について、計画規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定図等は、公表時点の小仁熊川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、小仁熊川の洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率1/100 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100 (1%) に伴う洪水により小仁熊川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水域と異なる場合があります。

2 基本事項

- | | |
|----------------|----------------------------|
| (1) 作成主体 | 長野県 |
| (2) 公表年月日 | 令和5年11月15日 |
| (3) 指定の根拠法令 | 水防法 (昭和24年法律第193号) 第14条第2項 |
| (4) 対象となる河川 | 信濃川水系小仁熊川 |
| (5) 指定の前提となる降雨 | 小仁熊川流域全体に24時間で90mmの降雨を想定 |
| (6) 関係市町村 | 筑北村 |
| (7) その他の計算条件等 | |
- 氾濫区域を5m格子 (計算メッシュ) に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深 (7段階)

- 0.5m未満の区域
- 0.5 ~ 3.0m 未満の区域
- 3.0 ~ 5.0m 未満の区域
- 5.0 ~ 10.0m 未満の区域
- 10.0 ~ 20.0m 未満の区域
- 20.0m 以上の区域

- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の対象となる区間

